



謹んで新春のお慶びを申し上げます。 2020年も引き続きご芳情を賜りますようお願い申し上げます。

2020年、デルタ航空は 新たなフェーズを迎えます。

あけましておめでとうございます。

デルタ航空は今年、成田空港発着便をすべて羽田空港に移行し、全7路線でデイリー運航を開始します。羽田における路線の拡大は、日本のお客様にとって大きなメリットとなります。国内の移動時間が短くなるほか、米国到着空港はほぼすべてデルタ航空のハブ空港のため、他の都市への乗り継ぎも便利で、旅行全体の時間が短縮されます。人気の高いニューヨークやラスベガスへは、複数の経由便の組み合わせが可能で、お客様のニーズに合わせて柔軟なスケジュールを組むことができます。

羽田便には、デルタ航空のフラッグシップであるエアバスA350-900型機を3路線で使用し、今年後半にはシアトル線に最新鋭のA330-900neo



日本支社長
大隅 ヱイクター

も投入します。空港への投資も積極的に行っており、アトランタ空港の国際線ターミナルには2018年に生体認証を導入、ニューヨークのラガーディア空港には昨年新コンコースをオープン、建設中のシアトル空港の国際線到着施設は今年後半に完成する予定です。

デルタ航空では、機内および空港での顧客エクスペリエンスの向上に多大な投資をしていま

すが、航空会社にとって最も大切なのは、安全に時間通りにお客様をお荷物とともに目的地にお運びすることです。デルタ航空は、米国航空会社のなかで運航完了率、定時到着率、ロストバゲージの少なさでトップを維持し、日本でも全航空会社のなかでトップの定時出発率と定時到着率を誇っています。

全米をカバーするネットワーク、最新の機材、先進的なプロダクトとサービス、機能性の高い空港施設、運航の信頼性—このデルタ航空の強みをより多くのお客様にご体験いただくため、2020年はまず、日本地区における営業組織の強化に取り組みます。1月1日付けで新たに網藏二郎日本地区営業本部長を迎え、新たな「チーム」として、日本のお客様、旅行会社様、パートナー企業様に選ばれる航空会社になるべく努力を続けてまいります。



日本地区 空港本部 本部長
田中 勇三

あけましておめでとうございます。

デルタ航空空港チームは、弊社の前身のひとつであるノースウェスト航空が1947年に日本との運航を開始してから約70年間以上にわたり運航を支えてまいりました。デルタ航空が新たなフェーズを迎える今年、これまでの経験を活かして2020年をさらなる飛躍の年にする所存でございます。そして変わることはない安全運航をここにお約束いたします。

2019年は全社で取り組んできた定時運航を高める努力が実り、日米路線において定時出発

率、到着率ともに、すべての定期便航空会社の中で最高位*の結果を取ることができました。2020年も引き続き定時運航に努めます。そして羽田空港への全面移行に際して、顧客エクスペリエンス向上のために数々のプランを準備しています。その一つとしてお客様に接する業務にはすべてデルタ航空の職員を配備し、開設予定のデルタスカイクラブの接客担当もすべて弊社職員にて対応いたします。

それだけでなくデルタ航空は顧客エクスペリエンス向上のために常に最新テクノロジーを駆使しています。羽田空港においても業界をリードする生体認証技術の展開に加え、セルフバッグドロップを使用予定です。また、空港にお越しになる前にオンラインにてチェックインをお済ませいただくと、空港でのお時間を有効にお使いいただけます。

デルタ航空の発着便すべてが羽田空港に移行する2020年は、日本での経験を活かす集大成の年といたします。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。 ※定時出発率、到着率は2019年11月現在。

お知らせ

日本地区営業本部長に 網藏二郎が就任



2020年1月1日付けで、デルタ航空日本地区営業本部長に網藏二郎が就任したことをお知らせします。ホテル業界における28年の経験を活かし、営業組織の強化に取り組むとともに、日本地区全体の営業部を統括いたします。

網藏二郎は、インターコンチネンタルホテルズグループ、マリオットインターナショナル、IHG・ANAホテルズグループジャパンなど大手ホテルにて要職を歴任。プリンスホテルでは、国内外でのホテル開発に加え、事業計画の策定において多くの実績を残しています。

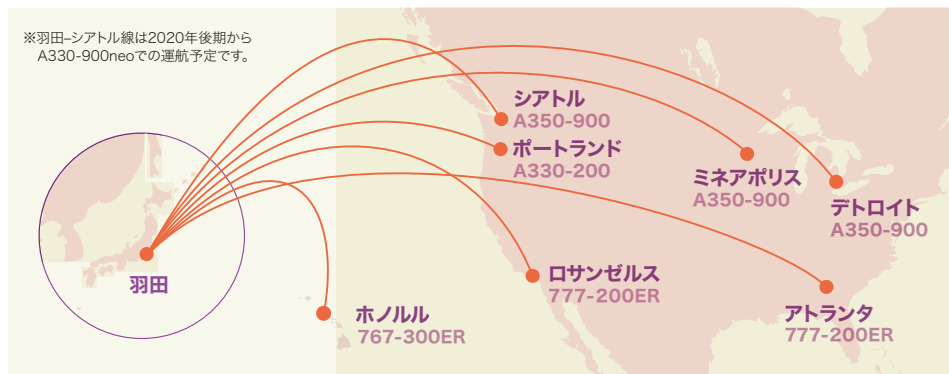
デルタ航空、3月より羽田空港から米国行き全7路線を運航

デルタ航空は、2020年3月29日より、米国行き全運航便を成田空港から羽田空港に移行し、アトランタ、デトロイト、シアトル、ポートランド、ミネアポリス、ロサンゼルス、ホノルルの全7路線を運航します。都心に近い羽田空港から米国本土のデルタ航空のハブ空港や主要マーケットへの直行便を運航することで、アメリカ大陸290都市への乗り継ぎがさらに便利になります。

羽田発着路線には、デルタ航空の最新プロダクトを搭載した機材を使用。デトロイト線、ミネ

アポリス線、シアトル線にはデルタ航空のフラッグシップであるエアバスA350-900を、アトランタ線とロサンゼルス線には改装済みのボーイング777-200ERを使用します。ポートランド線は、より座席数の多いエアバスA330-200ERへと大型化し、ホノルル線にはボーイング767-300ERを使用します。なお、2020年3月29日以降の羽田発着便の航空券の予約・販売をすでに開始しています。

また、2020年夏ごろには、羽田空港国際線ターミナルに、824平方メートルの専用ラウンジ「デルタ スカイクラブ」を新たに開設する予定です。



「デルタ スカイクラブ」の主なサービス

- 季節ごとに変わるインターナショナルおよび日本の軽食をご用意
- フルサービスのバーカウンターを設置
- 現地のカルチャーや歴史を反映した独特のデザインやアートを導入
- 高速Wi-Fiアクセスを提供し、ほぼすべての椅子に電源を設置
- シャワールームを完備

写真はイメージです。

「羽田路線セミナー」で、全便羽田発着移行についてのメリットをアピール

デルタ航空は、夏ダイヤから東京/米国間の全便を羽田発着に移行することに先立ち、2019年12月4日、東京都内で「羽田路線セミナー」を開催しました。イベントでは、デルタ航空日本支社長



である大隅ヴィクターをはじめ営業部より、羽田移行後のメリットとプロダクト、サービスについてアピール。また、会場には、「デルタ・ワン スイート」と「デルタ・プレミアムセレクト」のモックアップを展示し、実際に座っていただくなど体験を通してプロダクトの優位性や多様性をアピールしました。

デルタ航空が米ビジネストラベルニュース誌のランキングで9年連続トップに

デルタ航空は、米国の業界誌「ビジネストラベルニュース (BTN)」が実施している、コーポレートトラベル専門家を対象としたエアライン調査で9年連続1位に選ばれました。1998年にこの調査を開始して以来、9年連続で同じ航空会社がトップに選ばれるのは、デルタ航空が初めてとなります。

この調査は、アメリカ企業の出張経費を管理しているコーポレートトラベルの専門家を対象に、アメリカの航空会社が法人顧客向けに提供しているサービスやプログラムについて、交渉や運用の仕方などを評価してもらうものです。デルタ航空は、11の調査項目すべてにおいてトップ



にランキングされ、特に「顧客とのコミュニケーション力」、「アカウントマネージャーや営業担当者との関係性」、「顧客サービスの質」の項目において最高得点を獲得しました。

デルタ航空が関西外大に留学支援留学生に無料航空券を提供

デルタ航空は、関西外国語大学と留学制度支援に関する覚書を締結しました。これは関西外国語大学の派遣留学生に対して、無料往復航空券を提供するというもの。デルタ航空日本支社の大隅ヴィクター支社長が関西外国語大学の谷本栄子理事長と面談し、覚書にもとづき協力していくことを確認しました。



無料航空券提供の対象となるのは、協定締結大学への専門留学、リベラルアーツ留学候補生で、アメリカ・カナダを第1留学先として希望する学生たちです。適用されるのはデルタ航空の就航都市に限られ、2020年春派遣の学生から提供。提供対象の学生は関西外大が選抜します。

1月の機内映画リスト (一部抜粋)

邦画 (新着)

- ダンスウィズミー / Can't Stop Dancing
- 新聞記者 / The Journalist

洋画 (新着)

- マレフィセント2 / Maleficent: Mistress of Evil 日本語吹替
- ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド / Once Upon a Time in Hollywood 日本語吹替
- スパイダーマン:ファー・フロム・ホーム / Spider-Man: Far From Home 日本語吹替

※機内映画の上映リストは、[デルタ・プロフェッショナル](#)または、[スカイオンライン](#)にてご覧いただけます。